

よろず支援拠点だより <48>

生活や事業持続の体制作りを支援

わかやま新報の読者の皆さま、こんにちは！

和歌山県よろず支援拠点コーディネーターの鹿島です。いま、まさに私たち人類は、生命や生活を脅かし、世界中を震撼させている「新型コロナウイルス感染症」のパンデミックに直面しています。

私たちは、「三つの弱さ」（大自然の中で生きる一員としての人間の弱さ、築き上げた経済・社会の脆弱（ぜいじゃく）性、人間の心に潜む弱さ）と、「二つの被害者」にも「加害者」にもなり得ること、そして人と人との間で生きる「人間」である（私たちは一人ひとり

あり、また仲間である）ことを常に自覚する。そして疫病との闘いを「連帯」して乗り越えて行く必要があると思います。

まずは、未曾有の危機に見舞われたとき、一人ひとりが以下のような「危機管理」を身に付けることが大切です。

①目の前の不安・焦燥（しゅうそう）・恐れにとらわれることなく「集中力」に変えること、②自分にとって大きすぎる問題も、コントロールできる作業に分けて行うこと、③小さな作業一つ一つ、いつまでに、どのレベルまで行うか、具体的な行動手順を決める

こと、④力量内で実行し余力を残すこと、⑤継続して明るく前向きに取り組むこと。

次に組織で「危機管理」を実行するには、「事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）」が不可欠です。「事業継続計画」は、事業中断の原因となるさまざまなリスクを想定し、これらを未然に回避、あるいは被害を受けても速やかに復旧できるような方針や行動手順を規定したものです。自然災害のみならず、テロ、パンデミックなどが対象です。

特に、私たち日本人にとって喫緊の課題は、人類最大の危機を契機に、「危機管理」を身に付け、南海トラフ巨大地震やパンデミック

クなどのリスクを想定し、「事業継続計画」の策定と訓練を通じて、被害を最小限にし、生活や事業を持続させていく体制を作ることと言えます。和歌山県よろず支援拠点では事業者の事業継続計画の作成を支援しています！

和歌山県よろず支援拠点
和歌山市本町二丁目1番地
フォルテワジマ6階
URL <https://yorozu-wakayama.jimdo.com/>
TEL 073・433・3100

